

会議録 (グループホームゆうなぎ 運営推進会議)

作成日 令和4年12月3日

期 日	令和4年 11月20日 (日)	時 間	午後1時30分 ~ 午後2時
場 所	グループホームゆうなぎ 相談室		
出席者 (7名)	利用者・家族	1名 (家族)	
	地区民生委員	1名	
	包括支援センター	1名	
	福祉事務所	1名	
	施設スタッフ	3名	

会議要旨

議題 (テーマ)	① 利用者状況
	② 活動内容報告・今後の活動予定
	③ 身体拘束について
	④ その他
① 入居者の状況	
文書にて説明	
② スタッフより活動状況報告	
前回の運営推進会議以降の活動状況を報告	
9月21日 避難訓練 (火災想定)	
9月21日 外でお茶	
9月23日 高倉へ	
9月25日 クッキー作り	
9月27日 K・Tさんお誕生日会	
10月1日 柿採り	
10月2日 屋外で昼食	
10月3日 かもめ公園へ	
10月5日 シソの味噌漬け作り	
10月8日 高倉へ	
10月14日 ズイキ皮むき	
10月14日 K・Iさんお誕生日会	
10月16日 柿採り	
10月19日 新戸へ	

10月20日 神道山へ
10月21日 たこ焼き作り
10月23日 里芋収穫
10月27日 布引公園へ
11月1日 柿採り
11月1日 干し柿作り
11月3日 菊花展へ
11月5日 M・Kさんお誕生日会
11月13日 浦本漁港へ

③ 身体拘束について

身体拘束が必要な事例はありませんでした。

④ ヒヤリハット報告（1件）

転倒の恐れが1件ありました。

⑤ 活動報告に対してのご意見

<糸魚川市福祉事務所職員>

介護計画について、ご家族からの意見や要望はどのようなものがあるか。

<管理者>

ご家族からは、体調管理の要望が多いです。現在の状態を維持し、より健康に過ごして頂きたいので、その為の活動を取り入れています。

<民生委員>

入居者の平均年齢の高さ、申し込み待機者数の多さに実状の大変さを感じる。活動内容では、コロナ禍が少し落ち着いていた時季だったが、ゼロということは無い中で、入居者それぞれに配慮された細やかな活動をしていると思う。

外出等は近隣、そして少し足を伸ばした場所にも出かけていて、自宅で生活していると、変化や刺激のない毎日になってしまいがちだが、入居者本人はもちろん、ご家族の方にとっても安定しつつ変化のある生活を過ごせて安心していると思う。

グループホームは近隣住民の方との連携も大切だと思うが良好な関係を築けているのではと感じた。今後は気温も下がり、新型コロナウイルス感染症陽性者の増加、インフルエンザの同時流行も心配され、気が抜けない日々になりそうだが、基本的な感染対策はもちろんのこと、各個人の免疫力をあげ

ることなど、気を配り、入居者、スタッフとも安心な毎日を過ごしていけるように思っている。

<入居者のご家族>

ゆうなぎに入所して2ヶ月が経過した。母も色々な物を残さず食べ、入居者や職員と良好で日々仲良くやっている様子をきき安心している。

アットホームな点に感心している。

細やかな配慮、家にいるとき出来なかったことが、できているようで、母の晴れ晴れした顔や、艶のある声を聞いたり、みたりするにつれ、とても良い所にいれて頂いた。

今後とも、よろしく願います。

<能生地域包括支援センター職員>

今年の冬は新型コロナウイルス感染症に加えインフルエンザも流行の兆しがあるので、感染予防の継続をお願いします。

申込者数は増加傾向にあるか。

<管理者>

はい。確認して、他施設に入所していることもありますが、申し込みは増加傾向にあります。